

報告事項シ

平成30年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について

平成30年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について別紙のとおり報告
します。

平成30年10月31日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成30年度特別支援学校就労促進セミナーについて

1 目的

- (1) 特別支援学校の生徒の状況を事業所に周知し、障がいへの理解・啓発を促進する。
- (2) 本人、障がい者雇用・就労に関わる事業所、卒業生、支援者など、それぞれの立場から障がい者の就労促進について、現状や思いを発表し合い、参加者全員が障がい者の就労についての理解を深め、就労促進について考える機会とする。

2 実施概要

	東部地区	中部地区	西部地区
日時	7月12日(木) 13:30~15:30	9月4日(火) 9:30~12:00 ※台風のため中止	9月11日(火) 13:15~15:35
会場	鳥取県立福祉人材研修センター	倉吉養護学校	米子養護学校
内容	・意見発表 (在校生、卒業生) ・各校の取組発表 ・生徒の出し物 ・作業製品販売	・学習公開 ・意見発表(卒業生) ・ディスカッション 「雇用における企業の 悩み、課題って何?」	・学習公開 ・学校紹介 ・意見発表(卒業生) ・就労事例紹介 ・意見交換
参加企業	67名(61社) 【前年度】 93名(83社)	 【前年度】 48名(35社)	50名(37社) 【前年度】 37名(31社)

3 参加企業感想

- ・企業側の障がい者に対する環境整備を急がなければと思った。(東部)
- ・障がいのある人に会った仕事があるか検討したい。(東部)
- ・特別支援学校の取り組みを知る機会がなかったので、学校側の細やかな支援策の数々に驚いた。まずは、知ることが雇用計画の第一歩だと思った。(西部)
- ・就労について分からない部分が多いので、このような会は、非常に有効。実際に雇用されている会社の悩み等が聞けてよかった。(西部)

4 成果等

- ・企業の方に、実際に生徒の活動の授業や活動の様子を見ていただくことで、特別支援学校の生徒の働く思いや力について知ってもらうことができ、実習や就労の開拓へとつながっている。
- ・企業担当者が就労促進セミナーに参加したことをきっかけに、障がい者雇用につながっており継続的に取組んできたことが実を結んでいる。